5 カ年計画完成を機に管理部長交代

社会医療法人近森会の管理部長が川添曻から寺田文彦へ交代します。

社会医療法人近森会 管理部長 寺田 文彦



この度、新しく管理部長職を拝命いたしました。平成10年に就職後、すぐ企画情報室に配属になり、近森リハビリテーション病院事務長を経て、平成16年から診療支援部長職を務めておりました。支援部では電子カルテシステムの構築やDPCの導入や新本館建設5カ年計画のプロジェクト、医療機能評価の受審、特定共同指導の事務局などを担当し、病院全体の業務を俯瞰してきました。

昨今の医療情勢は、「社会保障・税一体改革」に基き、各地域ごとに具体的な地域医療ビジョンを地域医療計画へ反映させ、大規模な医療法改正のもとで将来にわたって持続可能な医療・介護体制を具現化する段階に入っております。この大きな変化から強い組織の本質を学び取る必要があります。変化の本質が何であり、どう対処すべきか、高齢化・重度化する医療状況下で必要な仕組みや組織づくりを行い、変革できる組織行動が求められております。

今後、高知県は病床過剰な医療圏域での新しい医療体制が要求されております。医療機関の継続性を第一の念頭に置き、20年後の医療情勢を考慮しながら、現場のスタッフと共に病院運営に邁進していきたいと存じます。

てらだ ふみひこ

社会医療法人近森会 常務理事 川添 曻



この4月1日よりおよそ30年間勤めさせていただいた管理部長職を寺田文彦現診療支援部部長にバトンタッチすることとなりました。

朝は誰よりも早く出勤し、帰りは誰よりも遅くまでいるといった、勤勉で努力家の人です。しかも、さまざまな分野に目を向け、それを自分の仕事にしていく探究心溢れるスタッフでもあります。

そんな彼にとって、この4月1日に完成する近森病院5 カ年計画は絶好の修練の場であり、この重要な仕事を見事 にやり遂げてくれました。

そんななかで、診療現場に対してたゆまない支援を送る ことこそが、管理部の役割であることを十二分に理解して くれたのではと思っています。そうした努力を、そしてこ れまでの経験を管理部長として立派に開花していただける ことと確信しています。

私は、これから経営管理担当の常務理事として、微力を 尽くしてまいりたいと思っています。寺田文彦新管理部長 ともども、どうぞよろしくお願い申し上げます。

かわぞえ のぼる



高齢化社会と 国民医療費

近森病院副院長 内科部長

浜重 直久

国民皆保険制度や医療の進歩などに よって、日本人の平均寿命は男女平均 で84歳(女性87歳、男性80歳)と、 世界一になっています。

少子化の影響もあって、65歳以 上の高齢化率は1975年の8%か ら2013年には24% (75歳以上は 12%) となり、10年後には30%を超 えるといわれています。



一方、高齢化や高度医療の普及など によって、国民医療費は1975年の6.5 兆円から年々増加し、2013年は40 兆円に達し、10年後には60兆円に なるのではといわれています。

バブル崩壊以前の右肩上がりの経済 成長など望むべくもない状況で、どう やってこの負担を受けとめるのか、子 や孫の時代に現在の保険制度を維持で

きるのか、考えると暗い気持ちになり ますが、医療現場の問題意識は低すぎ るように思われます。

医療には、現在の救命治療や苦痛を 軽減し生活の質を高める目的と、将来 の発作を予防し長生きをめざす目的が あると思います。たとえば、平均寿命 近くまで達した高齢者に対して、救命 や苦痛を軽減する治療は当然必要です が、高額な予防的医療をどこまで適用 するのか、あるいは一部は保険診療と は別の自由診療とするのか、いずれ社 会全体で考えないといけない時代に来 ているのではないでしょうか。

医療費は公のものでしかも有限であ るというあたり前の事実を意識し、何 ができるかではなく何が本当に必要か を考える医療をこころがけたいものだ と思います。

はましげ なおひさ

I&A 認定施設へ

安全で質の高い輸血医療を目指して



お弁当拝見 32

母に感謝



近森病院 理学療法士 大崎 優

仕事の日はいつも母がお弁当を作って くれています。母のお弁当は、彩りやバラ ンスを考えてくれているし、何より美味し いです。

学生時代、実習で県外に行っていた時 には何度か自分でお弁当を作っていまし たが、朝の短い時間にバランスを考えて 作る余裕はなく、冷凍食品を使うので味 は今ひとつでした。なので、朝から兄弟 4人分のお弁当を作っている母を尊敬して います。

いつもいろいろと考えながら、美味し



いお弁当を作ってくれている母に、心から 感謝しています。

おおさき ゆう

輸血療法委員会委員長 近森病院総合診療科部長 杉本 和彦

▲左端が筆者

2015年4月1日付で、当院は「日 本輸血・細胞治療学会」より、安全な 輸血医療を実践する「I & A 認定施設」 として、全国で85施設目、高知県内 で初めて認定されました。

輸血医療は厚生労働省より出された 各種指針、マニュアルに従って実施さ れることが期待されていますが、これ らには強制力がなく、各医療機関の自 主性に任されているのが現状です。そ のため、日本輸血・細胞治療学会では 第三者評価機関に審査を委ね、学会が 定める

- ①輸血管理体制
- ②血液製剤の適正使用の推進
- ③輸血副作用の対応
- ④輸血検査の精度管理とその保障 などの一定基準を満たしている施設 をI&A認定施設としています。

当院では、今回の認定を機に、より 安全で質の高い輸血医療を目指してま いります。

すぎもと かずひこ

救命救急センターとして 高度な医療の提供が可能となり

ER看護師長 町田 清史

近森病院に 2001 年に就職して、ま る 14 年が経過しようとしています。 放射線科、ER、ICU、救命救急病棟を 経験し、2014年3月に再びERへ戻っ てきました。同年8月にはA棟が完 成し、12月にはB棟改修工事も終了。 近森5カ年計画も無事終了しました。 以前よりもスペースが広くなり、ベッ ド間はプライバシーに配慮できるもの となりました。緊急 OP にも対応でき る部屋が2部屋、設備も整いどんな重 症患者さんにも対応できる ER になっ たと思います。

救急件数は病床数増加もあり、月平



均50件ほど増加。年間6000件の搬 送を見込んでおります。A棟屋上には、 ヘリポートも完成し、重症患者さんの ヘリ搬送も可能になりました。昨年8 月末の運航開始から、Dr. ヘリおよび 防災ヘリ合わせて30件。ハード面は 十分に整い、救命救急センターとして 高度な医療の提供が可能となり、地域 に貢献できるようになりました。

新しい環境、システムの変化に慣れ るまでたいへんなこともありました

が、患者さんが安全で安心できる医療 を提供できるように、スタッフ間で協 力しあっています。

ER および外来は病院のエントラン スだと考えています。スタッフの対応 ひとつで、患者さんやご家族の方に与 える病院の印象は大きく変わります。 とくに、急性期である ER での対応は 大きな影響力があります。

ER、外来看護師の役割って診療補助 だけ? 知識やスキルだけ伸ばせばい いの? いやいや、やはり患者さんや 家族の方の気持ちを見て、聴いて、感 じて、何を必要としているのか常に考 えながら行動できることが、看護師と して大事であると思っています。

知識や技術の向上はもちろん、ER で求められる看護が実践できるスタッ フの育成にも力を注ぎたいと思ってい ます。より良い医療と看護が提供でき るように ER スタッフ一同、これから も力を合わせて頑張っていきます。

まちだ きよふみ

4月の歳時記

ラナンキュラス

近森病院北館 5.6 階病棟看護師 中内 清理亜

ラナンキュラスは、 薄い雁皮紙を幾重に も重ねたような姿が美 しい草花です。趣味が ガーデニングの義母の影響

を受けて、私も娘も花を育てるのが大好

今、義母と一緒にラナンキュラスの球根 を植えて大切に育てています。

花言葉は「魅力的」娘の鉢にも魅力的 なラナンキュラス、どんな花を咲かせるの か楽しみです。

> なかうち せりあ ▼絵は娘さんの





バトンタッチ



近森正幸

一面でも触れている通り、川添曻 管理部長から寺田文彦診療支援部長 に管理部長職がバトンタッチされる ことになった。思い起こしてみると、 川添管理部長が事務長になったのは 「ひろっぱ」創刊時からなので、30 年近く梶原前統括看護部長とともに 私を支え、近森を引っぱってきてい ただいた。

いちばん大きかったことは、病院 組織を診療部門、看護部門、管理部 門に大きく分けて、病院、施設のハ ードを充実させながら、人材の育成 とシステム化などを推進することで、 「分離と統合」がバランスよく機能す

る組織体に発展させてくれたことで ある。

管理部でも総務部や診療支援部な ど組織の全体最適化を図り、完成度 の高い本部機能をもった組織にして くれた。私と彼は、組織のなかの説 明のつかないアンタッチャブルな存 在をなくして、既得権益に対してモ グラ叩きのように潰してきた戦いの 歴史がある。人員の配置替えや外部 への委託、可視化などを積極的に進 めてきた。

なにより彼の存在の大きさは、コス トセンターにしか見られていなかっ た管理部を、マネジメントによって 利益の出るプロフィットセンターに 変えてくれたことである。

彼にとってはやりがいもあり充実 した日々であっただろうが、疲れる ことも多かったのではないか。当分 は常務理事として近森に残っていた だくので、これからは彼を「常務」 と呼んでやってください。

4月1日をもって新しく就任する 寺田管理部長も、五カ年計画を完遂 することで大いに成長して人間の幅 も広がったのではないかと思う。今 の時代に合った若い感性、決断力、 実行力で、これからの近森を支えて いっていただきたい。

理事長・ちかもり まさゆき

韓国のソウルで行われた Foot & Ankle Cadaver Course に参加して

整形外科でも 足は注目の場所

近森病院整形外科 西井 幸信 部長



昨年 12 月 20、21 日の両日、Seoul Catholic Medical Center で行われた Foot & Ankle Cadaver Course に参加 させていただきました。

国内インストラクターの養成を目指 した Cadaver Course で、日本足の外 科学会副理事長の大関覚先生(獨協医 科大学越谷病院整形外科主任教授)を

図書室便り(2015年2月受入分)

《別冊・増刊号》

- 別冊医学のあゆみサルコペニア:成因と対 策/荒井秀典(編)
- こ こ ろ の 科 学 HUMAN MIND SPECIAL ISSUE 不安症の事典/甲谷久宣(他編著)
- BRAIN NURSING 2015 年新春増刊 術式別 決定版脳神経外科手術とケアパーフェク トガイド/小泉博靖(他監)
- 別冊 NHK きょうの健康健康ダイエット肥 満が招く11の病を防ぐ/宮崎滋(監)
- 別冊 NHK きょうの健康検査でわかるこ と:健康診断・人間ドックガイド/安倍 美和子 (編)

講師として行われました。

足部の外科的アプローチに加えて、 国内で新たに使用可能となった足部の プレート、スクリューを用いた内固定 のトレーニングが主たる目的のコース

ですが、大関先生のご専門である 足部の靭帯について詳しく観察す ることができたことが大きな収穫 でした。

とくに足関節内側の三角靭帯に ついては浅層から深層に至る走行 を丁寧にご指導していただきまし

短い期間の Course でしたが、 全国から集まった足の外科医の先 生達との case discussion も有意義 でした。

帰国後、2015年1月18日に 愛媛大学整形外科教室で行われ た外傷カンファレンスの Cadaver Course に講師として参加させて いただきましたが、今回の Foot & Ankle Cadaver Course が非常に役に立 ちました。

下肢の外傷では股関節、膝関節など の大きな関節に目を奪われがちです が、歩行において足部は極めて重要な 部位です。現在、足の外科学会員数は 急増しており、足は整形外科でも注目 の場所のひとつです。

当科では年1回四国足の外科研究会 を開催しており、今年も8月29日に 開催を予定しております。足に興味が ある方はぜひ参加してみてください。

にしい ゆきのぶ

▼ソウルの Catholic Medical Center の前



リレーエッセイ

よさこい踊りが好きで



高知のよさこい祭りに私が心踊らされ たのは大学生の時でした。それまでは観 る側にいたのですが、大学生の時によさ こい祭りに参加して踊ったことをきっかけ に踊ることの楽しさを身体で感じ、それ 以来毎年よさこい祭りでは踊り子として参 加をしています。

近森リハビリテーション病院 4 階西病棟介護福祉士 國見 圭世

よさこい祭り は踊る楽しさだ けでなく、老若 男女問わずい ろんな友達が でき、祭りが終 わっても仲間と



の繋がりが続くので参加することがやめら れません。よさこい祭りは13年目。2011 年には北海道のよさこいソーラン祭り、 2012年には市民ミュージカル音の旅人で よさこいダンサーズとして踊り、2013年に はねんりんピックよさこい高知の開会式で 先頭を行進し、色々な場面で踊ってきま した。多くの仲間と接することができ、よ さこいソーラン祭りの時に知り合った北海 道の友達とは今でも交流が続いています。 市民ミュージカルやねんりんピックではか るぽーと大ホール、春野陸上競技場とい う大きな舞台で踊った時の爽快感は今で も忘れられません。人に観られるという恥 ずかしさを通り越して、どんどん私を観て ほしいという気持ちにさえなります。

今では縁があって、高知よさこい祭りに 欠かせない振り付けの先生のスタジオで ダンスも習ってます。よさこい祭りで踊っ たことをきっかけに踊ることが大好きにな りました。これからもよさこい祭りに参加 し続けたいし、ダンスの練習をして何か 舞台にも立ち、仲間との出会いや踊るこ との楽しさを感じ続けたいです。

くにみ かよ

第51回 日本腹部教急医学会総会 研修医・医学生セフション

優秀口演賞

2015年3月5日

第 51 回日本腹部救急医学会 研修医・医学生セッション優秀口演賞受賞

研修医初! 全国学会受賞

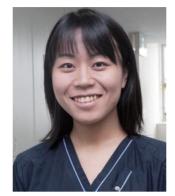
「超音波ガイド下整復後に待機的手術を施行した 閉鎖孔ヘルニア嵌頓の一例」

▼向かって左から二人目が筆者



今回、外科の辻井茂宏科長引率のも と、高知大学医学科3年の立道理乃さ ん、栄養部の中西花さんとともに国立 京都国際会館で行われた腹部救急医学 会総会で発表してまいりました。

外科の指導医の先生方からは熱烈な 指導を受け、研修医セッションで優秀 口演賞を受賞することもでき、お世話 になった方達への感謝の気持ちでいっ ぱいです。



初期研修医1年目 藤原 麻美

学会準備は大変でしたが、全国学会と いう場での発表を経験でき、プレゼン テーションの仕方を学び、演題の閉鎖 孔ヘルニアについてはかなり詳しくな れたので、発表を経験できて本当に良 かったです。次にこのような機会があ ればもっと良い発表がしたいです。最 後に、このような機会を与えていただ きありがとうございました。

ふじわら あさみ

ミラノから、ジェノバやヴェル ナッツァなどの東リビエラ海岸 をめぐる北イタリアの旅に行って きました。



ヴェルナッツァでみんなで記念撮影









Do one's best everyday ~日々精谁~

ハッスル研修医



初期研修医 田島 萌夢

この春から研修医2年目です。「萌 夢」と書いて「もゆ」、パッと見は 読めないですよね。でも、逆にこ の一風変わった名前をきっかけにコ メディカルの方々が声をかけてくだ さったり、名前を覚えていて下さる ことが多く、ありがたいなぁと思う 今日この頃です。たまに「もえむ」 や「もむ」とか読まれる方がいますが、 なんでもいいので、好きに呼びかけ てください!

私は高知県出身で器械体操を9年 間、高知大学でテニスを5年間楽し み、そのまま体育会系と噂される近 森病院で研修させてもらいました。 働き始めて近森病院が思ったほど体 育会系ではないということ、体育会 系関係なく「元気に笑顔であいさつ」 と「きびきびした行動」はどこに行っ ても必要不可欠ということを改めて 実感しました。

最初は慣れないことだらけで無力 感に苛まれていましたが、コメディ カルの方や患者さんに元気をもらい、 同期や上の先生方に助けてもらいな がら日々精進しております。

たしま もゆ



高知のドクター G

近森病院 総合診療科部長 浅羽 宏一

NHK のテレビ番組「ドクター G」を ご存知でしょうか? 総合診療科は、 あのテレビ番組のように患者さんの話 を詳しく聞き、聴診器などで丁寧に診察した上で診断(病名を確定)する診療科です。

○○の症状で辛いので病院を受診したいけど、どの診療科を受診すればいいのか困っている患者さんの、お役に立ちたいです。よろしくお願いします。 あさば こういち





近森リハビリテーション病院 理学療法科科長 高芝 潤

3月1日付で近森リハビリテーション病院での科長心得を拝命いたしました。昨今の医療情勢は科学的根拠に基づいた治療が要求され、理学療法士も更なる専門性が求められる時代になっています。

そのなかで、患者さんの治療につながるよう、質の向上と誇りを持った理学療法士の育成を目標に、頑張っていきたいと考えております。

たかしば じゅん



近森病院 リハビリテーション部副部長 前田 秀博

この度、リハビリテーション部副部 長を拝命することとなりました。

スタッフが生き生きと働き、高いパフォーマンスを発揮する理想的な部署の実現に向けて頑張りたいと思っています。

自分がやるべきことを見据えながら コツコツと役割を果たしていきたいと 考えておりますので、よろしくお願い いたします。

まえだ ひでひろ

自分の役割を



近森リハビリテーション病院 理学療法科主任 門田 千穂

2月16日付で辞令を受けました。 リハ病院の外来スタッフとしての訓練、そして、理学療法科内の業務など、 直接業務、間接業務いろいろあります。 部署も大きくなり、こういうことも必要ではといわれている「隙間を埋める」 という役割もこなせるようになりたい と思っています。

また、新たな気持ちでがんばってい きたいと思います。

かどた ちほ

「責任」を大切に



近森病院 理学療法科科長 川渕 正敬

この度、科長補佐の立場から、科長に就任させていただきました。就任初日、「補佐」という単語が消えただけなのに、肩に掛かる重圧は今までとは比べものにならないものでした。

就任後のいちばんの変化は「責任」です。発する言葉一つ一つの重みを胸に、「責任」を楽しみながら背負い、同僚である職員や患者さんのお役に立てるように、努力したいと思います。

かわぶち まさたか

良き相談役に



近森リハビリテーション病院 作業療法科主任 土居 文佳

3月1日付けで、主任心得を拝命いたしました。まだまだ視点も技術も未熟であり、身に余る思いがいたしますが、自己研鑽に努めながら、スタッフの教育にも尽力できれば、と考えています。

より一層スタッフとの十分な意見のやりとりを心掛け、スタッフの良きパイプ役・相談役となれるよう努めていきたいと思います。

どい あやか

11 乞!熱烈応援

支えられながら



近森病院 言語療法科科長 井上 浩明

3月1日付けで言語療法科科長心得 を拝命いたしました。振り返れば、自 分の力よりも、患者さんを含めた全て の方々に支えられて、ここまで頑張る ことができたと思います。

これからは、臨床の質の更なる向上 と、言語療法科の安定した体制の構築 を通して、皆さんに恩返しができたら と考えています。これからもよろしく お願いいたします。

いのうえ こうめい

チームで支える



近森リハビリテーション病院 作業療法科主任 北川 光代

3月1日付で、作業療法科主任心得 を拝命しました。

スタッフの方々とコミュニケーションをとりながら、チームワークを大切にして患者さんやそのご家族のことを理解し、生活を共に支えていけたらと思います。

また、職員の働きやすい環境づくりにも努め、自分自身も成長していけたらと思っています。

きたがわ みつよ

広い視点で柔軟に



近森病院 作業療法科科長 田村 美穂

このたび、近森病院の科長心得を拝命いたしました。近森会に就職して6年が経ちました。前職場では訪問リハビリテーションを、近森会では回復期、急性期リハビリテーションを通して様々な患者さんやスタッフに関わる機会を得ました。

経験させていただいたことが少しで も活かせるような視点を持ち、日々精 進していきたいと思っております。

たむら みほ

よりよい環境づくりへ



近森オルソリハビリテーション病院 理学療法科科長 塩田 直降

3月1日付けで、科長を拝命しました。今までは代理という立場で少し甘んじていた部分がありましたが、身の引き締まる思いです。

スタッフの意見を取り入れながら少しでも働きやすく明るい環境づくりに努め、安心、安全にリハビリが出来るよう管理していきたいです。皆さんのお力も借りながら頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします。

しおた なおたか

近森会とると保育室

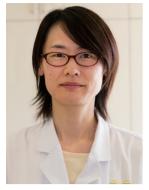
3月7日土曜日、西島園芸団地にそるとのみんなで遠足に行ってきました。 お母さんお父さんを含め 100 人近くが楽しみました。







ザ・RINSHO 23 健康管理センター 1



職員の健康づくりの取り組み

健康管理センター 20 年の歴史 -健康測定実施者延べ数 1,499 名から 3,544 名に-

社会医療法人近森会 総務課健康管理センター主任 村上 麻世

「ホッとできる保健室のような存在 でありたい」との先人の思いを受け継 ぎ、これからも職員が心身共に健康で 元気に働くことができるよう活動して いきたいと考えています。

次回は私たちの活動内容など紹介させていただきます。

むらかみ あさよ

「健康管理センターってなに?」「何をやっているところ?」と聞かれることがあり、まだまだ職員の皆さんへの周知が少ないように感じます。

今回から、この場を通じて私たちの 活動を知ってもらおうと何回かに分け て紹介させていただくことになりまし た。

第1回目は健康管理センターの歴史からです。平成6年に産業医と共に保健師1名(兼任システム担当1名)でスタートしました。当初は健診システムが確立しておらず、ほぼ手作業で業務にあたっていたと聞いています。翌年からはTHP事業(健康測定)が本格稼動し、延べ1,499名の職員に対して実施しました。その後、専従は2名となり、安全衛生委員会のメンバーと共に、現在の健康測定の基礎が出来上がりました。

時代は流れ、実施者の数は延べ3,544名にも増え、現在は保健師と臨床検査技師を合わせて6名のスタッフで運営しています。

ワイン講座 ● 30

ぶどう品種を知り、個性を探る 黒ぶどう その⑦

カベルネ・フラン

この品種はフランスのボルドー地方とロワール地方が、栽培適地といわれています。ボルドー地方ではカベルネ・ソーヴィニヨンやメルロなどとブレンドされることが多く、これ単一で使用されることはなく、補助的な意味合いが強いとされています。しかし、冷涼なサン・テミリオン地区では、主体はカベルネ・フランで、メルロやカベルネ・ソーヴィニヨンが補助的な役割を務めています。

この品種が冷涼な気候を好むことが分り、17世紀にアボット・ブレトン氏によりボルドーから苗木が持ち込まれ、この品種を100%使用し個性豊かなワインが造られているロワール地方ではシノン、ブルグイユ、ソミュール・シャンピニィ

ブルグイユ・レ・ヴァン・リュー・ディ /ベレール/フランス、ロワール地方● カベルネ・フラン 100 パーセントからの ワイン。ピュアなワイン造りのため、こ の品種の個性を純粋に楽しむことができ る貴重なワイン

などが造られています。

カベルネ・フランの印象ってどんな感じですか? との問いに、「青臭い、ピーマンみたいな香り、みずしい」と、褒め言葉をいなるが、ロワールの生産者の日く、畑仕事が不十分で、水のぱい葡萄になってしまい、醸造過程で、過度ないのでしまう、とのこと。



鬼田知明(有限会社鬼田酒店代表)

私の越域は

パンを焼く

もともとパンを焼くようになったのは、子供が卵アレルギーで、食べたいものが自由に食べられなかったことがきっかけでした。

子供の好きな食べ物って卵が入ってるものがほとんどですよね。そんなとき、何年か前に貰ったまま使ってなかったホームベーカリーを、ふと思い出して食パンを焼いてみました。これがほんとに簡単で、材料をホームベーカリーにセットしてスイッチを押すだけ。タイマーをセットしておけば、朝には香ばしい香りとともに焼きたてパンが食べられます。

もちろん食パンは美味しいのですが、いつも食パンだけでは子供は飽きてしまうようで、やっぱり菓子パンが

近森病院総合心療センター 5階病棟看護師 中西雄行



食べたいようです。ためしにロールパンでも焼いてみようと、ネットでレシピを検索しました。生地はホームベーカリーでこねて発酵、形成、後は普段レンジ機能しか使うことがなかったオーブンで焼けば、なんとパン屋さんのようなロールパンができるじゃな



いですか。

子供からもあれが食べたい、 これが食べたいとリクエストし てくれるようになり、以来いろ

んな種類のパンを作ってみました。

作るたびに奥が深くて失敗することもありますが、何よりもオーブンから漂ってくる香りと焼きたての美味しさ、それから子供の笑顔をみると、これからもいろんなパンを焼いてあげようと思います。なかにしゅうこう

▼ Dr. 孝志郎先生と筆者 (右)

第3回コーチフェスの開催

和気あいあいと、有意義に

初期研修医2年目 中村 大輔

2015年2月28日(土)に、高知 県研修医団体コーチレジ企画のお祭り 「コーチフェス」が高知医療再生機構、



▲フィジカルクラブで聴診実技 平島修先生

高知県臨床研修連絡協議会の協 賛で、近森病院管理棟において開 催されました。

「研修は自分で創る、未来も自分で創る、仲間も自分でつくる」ををテーマに、高知県内の各病院の研修医(39名)や医学生(37名このうち県外から9名が参加)を中心に、医師(14名)、看護師、栄養士などコメディカル(21名)、総勢111名の方々にご参加いただきました。

近森病院からは救急科科長の井原則之先生による講演があり、発生が懸念



▼「巨大南海地震に 備える」井原科長

されている南海 トラフ地震につ いて、過去の震 災の経験から行 うべき対策を学 ぶことができま した。

共同開催が実 現したフィジカ ルクラブでは、



身体所見から病態を推察することの重要さを楽しく学ぶことができました。

国家試験予備校 MEC のカリスマ講師 Dr. 孝志郎先生の講演では、基本知識の大切さを再確認しました。さらに今後のキャリアプランについて先輩医師から興味深いお話を聞くことができました。

どの講演も笑いあり、学びありの有 意義な時間となりました。

なかむら だいすけ

新人看護師振り返りの会

2015年3月14日

仕事や研修を通して 人間として成長、 2年目へ

2年目へ向けて



近森病院本館6B病棟 看護師 松村 泰介

近森病院で働き始めもう一年が経過しようとしています。看護師として働き始めたころは右も左もわからず、本当にやっていけるのだろうかと、不安に思いながら毎日を過ごしていまし

た。しかし、先輩の看護師からの指導 や、一年を通しての細かい研修、また、 同期の仕事仲間たちの支えもあり、今

> ではできることもかなり増え てきたと実感しています。

> 周りの同期も仕事や研修を 通して人間として成長してお り、自分にとっても良い刺激 となっています。

> これからは、新しく入って くる新人の方に今まで先輩に 教えてもらったこと、自分が 失敗してしまったことなどを 教えていければと思います。

> > まつむら たいすけ



年頭に思い定めた「本年の抱負」も日常に薄れる頃ですが、今年の私は違います。新春に、敬愛する目上の方からの、「元気にまっすぐお歩みください。それにつけても健康第一」そんな年賀状の一言に背骨を支えられています。人生の折り返し点を過ぎてなお、こうしてエールをいただける幸せに感謝しつつ新年度に臨みます。

ひょん

2015年2月の診療数 システム管理室

近森会グループ	
外来患者数	16,291 人
新入院患者数	774 人
退院患者数	788 人
近森病院(急性期)	
平均在院日数	16.73 日
地域医療支援病院紹介率	60.28 %
地域医療支援病院逆紹介率	143.84 %
救急車搬入件数	401 件
うち入院件数	196 件
手術件数	415 件
うち手術室実施	272 件
→うち全身麻酔件数	154件

● **2015 年 2 月 県外出張件数** ● 件数 70 件延べ人数 150 人

心くばりに満ちた参謀

「近森愛」で出戻りました!

平成20年4月1日付で近森病院に「出戻る」までの3年間は高知大学医学部附属病院で、主に慢性疾患の診療に当たっていた。上田英輝部長は、「救急車が恋しかった(笑)というと言い過ぎかも知れないけれど、近森は出戻りの先生が多い。ボクも教授には自分で戻ります、と申し上げた!」とか。戻った理由は、「……、やっぱり近森愛(笑)」と、これはどうやらスタッフ間の隠れ流行語でもあるらしい。

所帯の大きい整形外科で、とくに大事にしたいのがチーム医療のパフォーマンス。そのために和を保ち、みんなが持てる力を最大限発揮して伸び伸び気持ち良く動けるよう中間で調整する。これが上田部長の立ち位置で、いわば参謀のこの役が自分に合っていると見る。



八方美人風こころくばり

周りのスタッフ評は、「穏やかで、 謙虚。職員にも患者さんにも、良い意 味でハッキリとモノがいえる先生。相 手を構えさせるような先生ではないの で、職員は気兼ねなくプライベートな 話をついついしてしまう」など、上田 部長が慕われているのがよく分かる。

こういう話に照れながら、「次男で

○型の典型的な八方美人。いろんな処にいい顔をしたいから 〜」と、謙遜にもほんわか心く ばりが滲む。

夜ごとに味わう倖せ

小さい頃から読書が趣味だった。家で勉強しろといわれた記憶は余りないが、シャキシャキ系の母親に「本を読め」とだけはよくいわれていた。そのせいか、いまでも布団に入っていいか、いまでも有人になっているのは悪ができれているのは事がにとか。ウイットに富み、会話のテンポも参考になり、こういでという体とを毎夜味わう。だから、読書はやめられない。



エネルギッシュで明るくて、元気で前向きで、しかもスタッフにも慕われている部長。この部長に診てもらうと、ついつい「なんでもよくなりそうな錯覚」を覚えてしまう患者さんもいそうだが、部長はキッパリ。

「痛くても、痛みが残っても、痛みを抱えつつでも動けることがあるはず。とにかく動いて欲しい。自分で動けることを見つけてもらいたい。周りが何をいうより、とにかく患者さん自身に気づいて自覚をもってもらいたい!」。患者さんの行動には、ついつい熱い想いがこぼれてしまう。

スポーツ系の手助けをする仕事への憧れ

中学時代以来、ほんの数年前までずっとバスケットを続けていた。いまは米国プロバスケの試合を観るのも楽しみの一つになっているし、次男坊が土佐高校の野球部で一昨年は甲子園にも行ったので夫婦で応援にも行った。

スポーツは観るのも、やるのも好き。



▲手術中



▲院内旅行中、趣味の撮影をしているところ

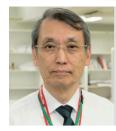
高校時代、半月板損傷で入院し、それが医学部に進みたいと思うようになった直接のきっかけでもあった。スポーツ系の手助けができる仕事に就きたいと、実は某整形外科のお医者様の動きを見て、憧れたのだそうだ。

末は博士か大臣か

ところで、名前は「ひでき」ではなく「えいき」と読む。「末は博士か大臣か」を願って、両親がつけた名だが、大学院では電気生理学を研究し、親の望む通り「医学博士」にもなった。

ついでながら、某国立大学で教授をされているお兄さんは、「工学博士」になられている。兄弟そろって頑張り屋なのだ。そのことを部長は、中学高校時代、先生方が「適度に縛ってくれたのが良かった」と、やはり母校愛の熱さで納得されている。

そういえば5年前、部長就任のコメントは「月並みだが初心を忘れず、部長の名に恥じぬ仕事をしていきたい」とカタくて実直な決意だった。その名に恥じぬ仕事が続いている。



春の芸術祭

総評 コミュニケーション委員会委員長 土居 義典

今年の芸術祭は本館 A 棟と外来センターの間の新しい通路橋に作品を展示し、外来センター2、3、4階には華道部がお花を生けてくれました。患者さんも楽しんだ芸術祭となりました。来年も多くの職員の出品を期待しています。



理事長賞「ヘリポート」

新しい病院の象徴であるヘリポートに近森の躍進をみました。近森正幸



システム管理室副室長 奥田興司

ただただ、何か出してといわれた ので、以前に作成したポスターを出 してみました。商用デザインで賞を

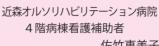
いただけるとは全く思っていませんでしたので ビックリしています。次回は美術系デザインの作 品を出品します。(笑) おくだ こうじ

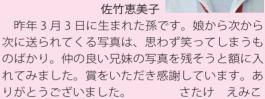


コミュニケーション委員会委員長賞

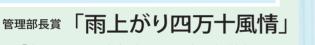
「私の宝物」

子供たちの笑顔と迫力の ある赤ん坊の顔が印象的で す。土居義典









「南よりとよもす嵐暖かく一雨毎に緑増すかと思ふ」という歌(作者不詳)が聞こえてくるような作品です。川添曻



施設用度課 川村正彦

休日にドライブがてら写生に 行きます。この作品も江川崎に 行った帰りの雨あがりの風情が 印象に残って描いたものです。賞 をいただけると思ってなく感激 しています。かわむら まさひこ



統括看護部長賞 「エコテープバッグ」





エコの時代にマッチした作品で、色や大きさ、編み方に工夫が見られ、今すぐ持って出掛けたいと思わせる作品でした。 岡本充子

近森病院8A病棟看護師 川﨑聖信

この度は名誉ある賞を頂き、ありがとうございます。 退職した母と、趣味で作ったバッグと小物入れですが周 囲の方々からも好評のようです。これからも一緒に多く の作品を作っていきたいですね。 かわさき きよのぶ

春の芸術祭受賞者一覧				
賞名	選考者	タイトル	受 賞 者	
理事長賞	近森正幸	ヘリポート	システム管理室副室長	奥田興司
コミュニケーション委員長賞	土居義典	私の宝物	近森オルソリハビリテーション病院 4 階病棟看護師	佐竹恵美子
管理部長賞	川添曻	雨上がり四万十風情	施設用度課	川村正彦
統括看護部長賞	岡本充子	エコテープバッグ	近森病院 8A 病棟看護師	川﨑聖信